

# 次世代学校支援モデル構築事業

(前年度予算額 138百万円)  
30年度予算額 119百万円

## ■ 事業概要

- 児童生徒が学習用コンピュータ等を活用した際の学習履歴等と、教員が校務事務で入力したデータ等を連携・活用して、学びを可視化することを通じ、教員による学習指導や生徒指導等の質の向上、学級・学校運営の改善等を図ることを目的とした実証研究を行い、データ活用の在り方の検討やデータに基づいた学校運営等の有効性等を検証する。

※ 本事業は総務省と連携して実施（文部科学省は学校におけるデータ活用方策等について検証し、総務省は情報セキュリティを確保することを前提としたシステム要件等の技術的な課題について検証）

## 【背景】

- ・ 新学習指導要領においては、児童生徒が、学習内容を確実に身に付けることができるよう、**ICTを活用して、個に応じた指導の充実を図ること**とされている。
  - ・ 一方で、日々の学習記録等は紙で記録されており、個に応じた指導の充実に向けた、**学校全体でのデータの共有や有効活用が行われていない。**
- ⇒ **教員による学習指導・生徒指導等にばらつきがある**

教室における学習用コンピュータの  
普及が進展

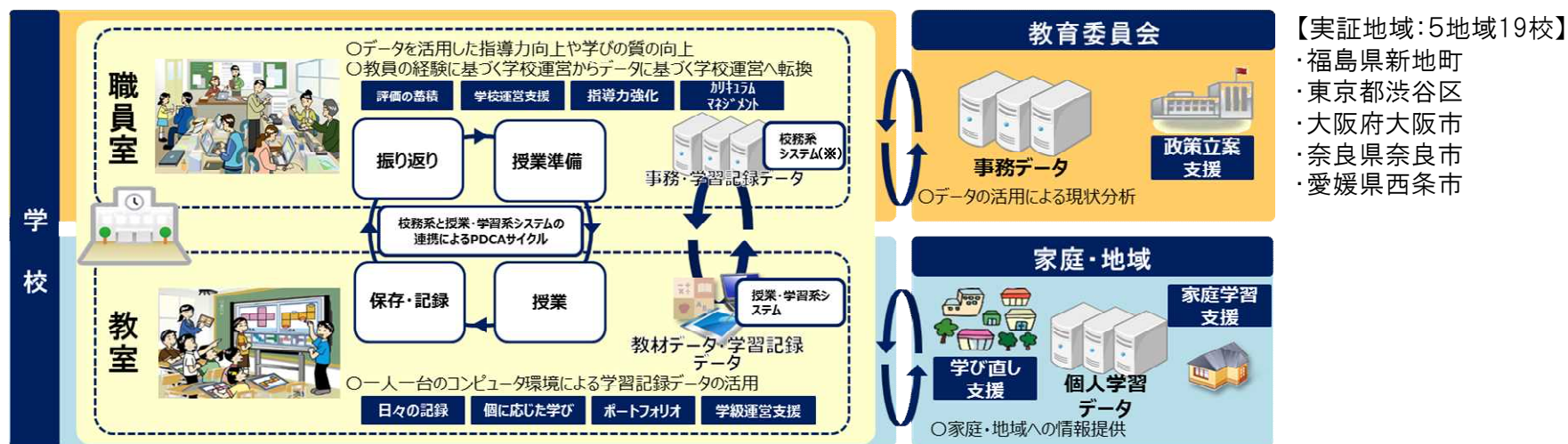
## 【実証校におけるねらい】

### データに基づいた学習指導・生徒指導の質の向上、学級・学校運営の改善等を実現

(学習記録データ等の可視化・共有・分析等を行い、「児童生徒自身の振り返り」、「学級・教科担任の個に応じたきめ細やかな指導の実現」、「学校全体の運営改善」、「教育委員会における政策立案」等に活用)

## 【実証成果の普及】

### データに基づいた学校運営等の手法・効果をまとめ、各教育委員会及び学校へ展開



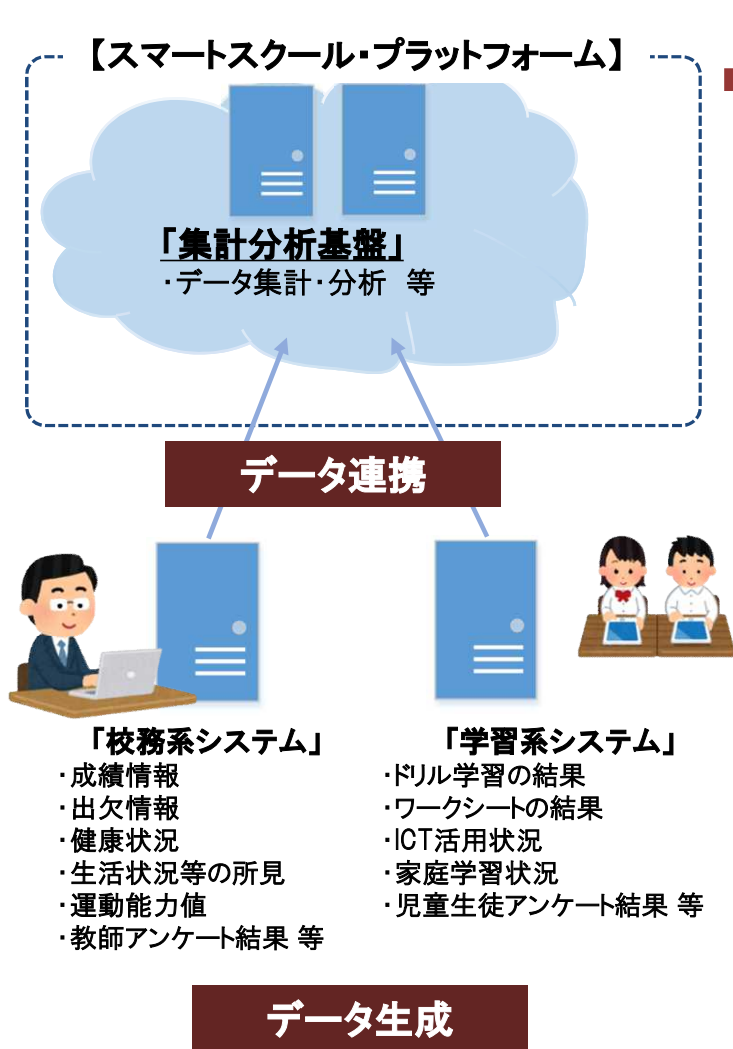
## 【実証地域:5地域19校】

- ・ 福島県新地町
- ・ 東京都渋谷区
- ・ 大阪府大阪市
- ・ 奈良県奈良市
- ・ 愛媛県西条市

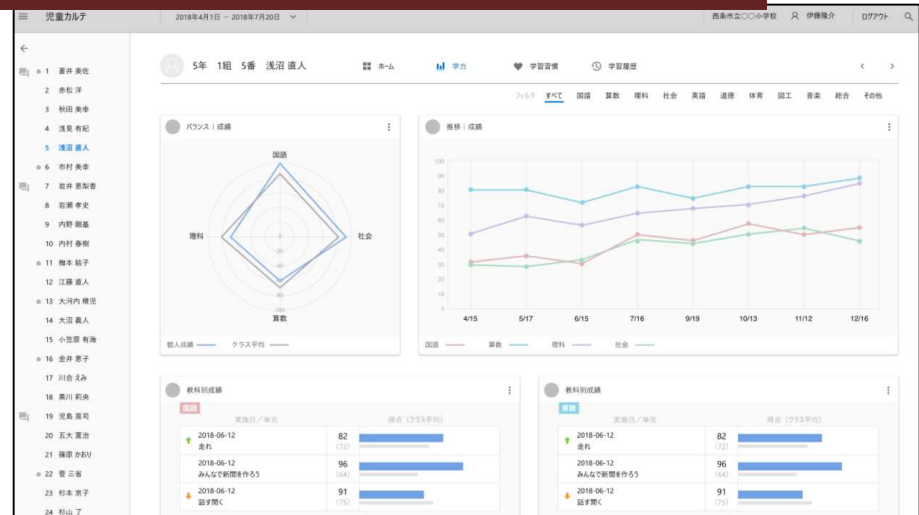
※ 統合型校務支援システムの活用を想定

(同システムは、「教務（成績処理、出欠管理、時数等）、保健（健康診断表、保健室管理等）、指導要録等の学籍、学校事務等の機能を統合したもの）

# 本実証におけるデータ活用の流れ（イメージ）



## セキュアな環境下で分析データを表示



## 教員が日々の学習指導・生徒指導に活用



・「校務系システム」、  
「学習系システム」で  
生成されたデータを  
連携

・ダッシュボードによる  
データの可視化及び  
評価

・課題の可視化  
・課題の要因把握

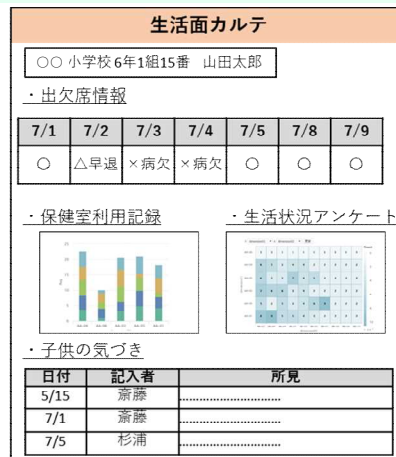
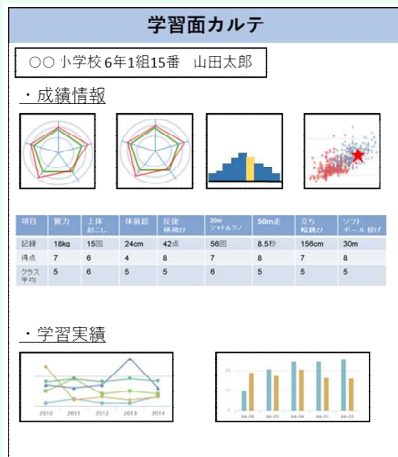
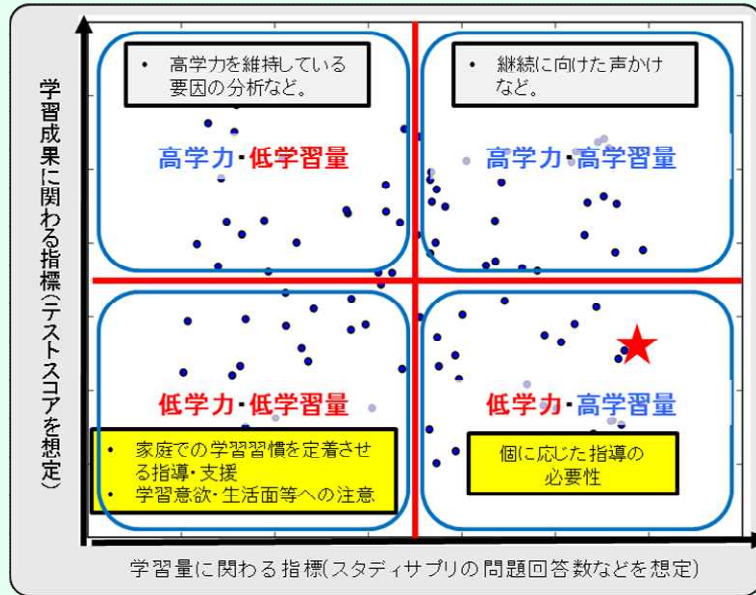
(例)成績と高い相関がある  
生活習慣や、成績が低い  
児童生徒の生活面の課題の  
支援等

・個に応じた指導の  
充実

・授業改善、  
学級経営・学  
校経営改善

# 本実証におけるデータ活用例

## ○ 各学級のテスト結果と学習量・習慣の関連等の状況把握



- 児童生徒の定期テストの結果やデジタルドリルの学習結果等と、学習量や習慣に関する指標を、学級ごとに一覧表示し、児童生徒の状況を象限別に把握する
- 個人ダッシュボードを基に、児童生徒への指導のアプローチを検討し、客観的なデータに基づいた個に応じた指導を実現する

## ○ 児童生徒個人の心理面等の状況把握



- 児童生徒の心理面の状況（毎日、ワンクリックで済むような簡単なアンケートを実施（心の天気図））、出欠状況、テスト結果等を連携させ、それらの推移を整理し、一覧表示する
- 教員が、児童生徒の学校内外での状況やその変化（生活面や健康面）を捉えやすくなることで、問題（家庭問題、いじめ等による不登校を想定）の早期発見及び解決につなげることができる。

## 事業実施の流れ（国・実証地域・委員会の関係等）

- 実証地域においては、大学教授等の学識経験者、教育委員会及び実証校関係者等で構成された「実証研究委員会」を設置し、当該委員会において、実証地域の取組を定期的に評価し（「**学校現場の課題解決に資するものであるか**」、「**教員の過度な負担となっていないか**」等）、随時改善を図りながら取り組んでいるところ。
- さらに、文部科学省においても「事業推進委員会」を設置し、各地域の取組に関する評価及び指導助言を行うとともに、本事業における地域横断的な評価等を行う体制を構築している。

### 実証地域

#### 教育委員会

- 実証地域内における取組の方向性の企画・構想
- 実証地域内の取組の整理
- 実証地域内のプロジェクト管理及び連絡調整窓口
- 実証研究委員会の運営 等

#### 実証研究委員会

- 大学教授等の学識経験者、教育委員会及び実証校関係者等で構成
- 教育委員会において企画・構想した取組の方向性についての検討及び指導助言
- **各実証校の取組の評価及び指導助言**

#### 実証校

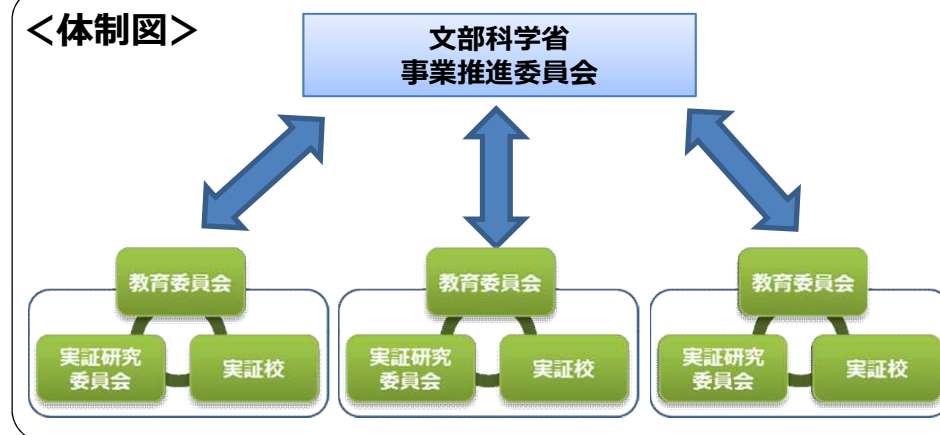
- 実際の学校の課題の解決を目的とした、データに基づく学習指導・生徒指導の質の向上に関する実証

### 文部科学省

#### 事業推進委員会

- 大学教授等の学識経験者、教育委員会及び学校関係者で構成
- 事業全体の方向性についての検討
- **地域横断的な観点からの、各実証地域の取組に関する評価及び指導助言**
- 各実証地域の取組の整理及びデータに基づいた学習指導・生徒指導の質の向上に関するポイントの整理（成果物（ガイドブック）に反映）
- 事業成果の普及方法の検討

#### <体制図>



# データを活用した教育の質の向上に係る類似事例について

- データを活用した教育の質の向上に係る類似事例としては、以下のようなものがある。
- ただし、以下の類似事例は、年数回の学力や体力等に関する調査データを活用する事例や、学習記録データのみを活用した事例となっており、本件のように以下①、②の双方を満たすような取組事例はこれまでにはなく、本実証を通じて、国がモデルケースを作成・普及させていく。
  - ① 学習系データ（児童生徒が学習用コンピュータ等を活用した際の学習履歴等）と、校務系データ（教員が校務事務で入力したデータ等）を活用
  - ② 様々なデータを可能な限り日常的に活用し、日々の指導改善に生かす

## 類似事例（ただし、本実証のように上記①、②を満たすものではない）

### 【大阪府箕面市の取組】

- 児童生徒の学力、体力、生活状況等について毎年調査を行い、一人一人のデータを継続して把握
- 集団の経年変化を追うことで、教科ごとの学力の変化を定量的に把握ができ、担任教諭の指導結果を客観的に比較することが可能
- 有用な指導技術を校内で共有するなど研修に反映したり、管理職による指導育成に活用

### 【広島市立藤の木小学校の取組】

- デジタルワークシートを活用し、授業の節目で、タブレットを用いて学習者の自己評価を4件法（例：わかった／だいたいわかった／あまりわからない／わからない 等）で回答させ、その後の授業に反映
- 授業・学習の流れに沿って設問が用意され、その結果を個人別、教科別等で蓄積し、その後の授業に反映

### 【リクルートマーケティング（スタディサプリ）】

- 学習履歴データを活用し、学習者の学習状況、傾向等を読み取ったアダプティブな学習を実現
- 誤答の傾向から、それ以前の理解が十分でないと判断した場合には、振り返り学習を行うことができる
- 教員は、学習者の学習記録をモニタリングし、傾向を把握することにより適切な指導を行うことができる

# 本実証事業における効果測定について

- 本事業の効果測定については、各実証地域において、それぞれの考え方に基づく効果測定に加え、本事業全体の成果（データに基づいた学習指導・生徒指導の質の向上）を明らかにすることを目的とした、地域横断的な効果測定の手法を検討し、実施しているところ。

## 地域横断的な効果測定について

- 本事業における実証によって、変容が予想される項目を設定（※）の上、各実証地域に共通のアンケートを実施し、前後の比較を行う予定
  - ※ 文部科学省が設置する「事業推進委員会」の委員で検討・設定
- 対象は、立場によって得られる効果が異なることを踏まえ、「児童生徒」、「教員」、「管理職」の3パターンに分類
- 平成29年度は、実証が本格化する前（※）のデータの取得を目的としてプレアンケートを実施
  - ※ 平成29年度は、実証校へのヒアリングを通じて、各学校の課題を踏まえたデータ活用モデルを整理・策定するとともに、データを連携するためのシステムを構築。  
システムを本格的に活用した実証については、平成30年度より実施。

【実施対象（実証地域5地域・19校）】

	児童生徒	教員	管理職
小学校	2,742人	262人	28人
中学校	2,097人	159人	11人
合計	4,839人	421人	39人

### 【児童生徒に対するアンケートの項目例】

- 先生は、自分の勉強の得意なことや苦しいことを分かっているか
- 先生は、自分の困っていることや悩んでいることを分かっているか
- 担任の先生だけではなく、ほかの先生たちも自分のことをよく知っているか 等

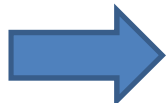
### 【教員に対するアンケートの項目例】

- 具体的なデータを基に、児童生徒一人一人の学習意欲の変化を把握しているか
- 具体的なデータを基に、学習意欲の状況を踏まえて、個に応じた指導を行っているか
- 具体的なデータを基に、児童生徒一人一人の身体・健康状況の変化を把握しているか
- 具体的なデータを基に、児童生徒同士の人間関係の変化を把握しているか

### 【管理職に対するアンケートの項目例】

- 具体的なデータを基に、各学級の学習状況や変化を基に、学級担任や教科担任等に対して必要な指導を行っているか
- 具体的なデータを基に、児童生徒の生活状況や変化を基に、担任、養護教諭、スクールカウンセラー等と連携し、指導しているか 等

### 【平成30年度以降における課題】



- ✓ 上記のアンケートのみならず、より客観的な指標について検討  
(想定される指標の例：定期テストの結果、不登校やいじめの発生件数、学校満足度調査の結果 等)
- ✓ 実証地域（実証校）以外の学校に対する効果測定の実施について検討